





## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・昨年度参加者や「登校拒否・不登校に学ぶフレンズネットワークくまもと」の口コミによるネットワークで効果的な工法を行うことができ、参加者を確保することができた。
- ・開会式前にボランティアによるアイスブレイクの時間を設定したいことで、どの参加者も早い段階でリラックスして事業に臨むことができた。
- ・熱気球体験を取り入れることが、多くの参加者にとって本事業への期待を高めるものとなった。
- ・野外調理や自分たちで活動内容について話し合い実施するプログラムを通して、参加者どうしに関わり合い、交流を深めることができた。
- ・保護者と小中学生で別のプログラムを設定し、座談会ではファシリテータを招聘したことで、保護者は普段話せないことを話したり、貴重な情報を耳にしたりと、リラックスした環境の中で、多くの学びや関係性をもつことができた。
- ・ボランティアと保護者の交流の時間を設定したことで、互いにとって有意義な意見交換の場になった。

### (2) 課題

- ・今回の参加者を中心に広報範囲を広げる等、広報の在り方をさらに工夫し、より多くの対象者に本事業のことを周知する必要がある。
- ・中学生の参加者が将来への見通しをもつヒントとなる機会つくれるように、ボランティアと中学生の交流の場を工夫する必要がある。
- ・今回は天候に恵まれ、熱気球体験を実施することができ、参加者の満足度も非常に高かったが、雨天時の内容もさらに充実させる必要がある。